



# PEGASUS

## テスト対策

「定期テストの範囲は分かっているのに、どうして伸びないの？」

「家では机にしっかり向かっているけど、スマホを見ないで勉強は進んでるのかしら？」

「口数が少ないので、一体どこまで定期テストの準備ができたのか分からないな．．．」

「実力テストの結果って何に使うの？」

「実力テストの得点で内申はどう変わるの？」

ご心配いりません！ ペガサスに来るとさまざまな身の周りの誘惑から解放されるので、テストの準備に集中できるのです。

ペガサスの定期テスト対策では、第1ステップで選択教科の苦手単元を定められた日から復習し始めます。学習システム「ピーネクスト」のテストコースで目標の正解率を突破したら、次の単元へ進みます。突破できない場合は学習コースへ立ち戻って「理解と実践」を繰り返し、それからテストコースに再挑戦します。

次のステップでは、自習室や家庭での学校テキストなどの取り組み状況を把握します。提出期日までにちゃんと終わられるかを確認し、状況に

合わせて授業時間を調整。必要であれば「臨時増し授業」で学習量を確保し、余裕をもって定期テストに臨みます。

最後の第3ステップは過去問。

選択教科の過去問を中心に取り組み、不安を感じたり、解き方を忘れてしまった問題に遭遇したら「ピーネクスト」でその単元に戻って「理解と実践」を繰り返します。同じ単元でも出題傾向は若干異なりますので幅広く問題に取り組んで物の見方・とらえ方の幅が広がると、なぜか不思議とやる気がわいてくるのです。生徒たちは、集中力の高まりの中、「もう授業終わったの？」などとよく言いながら達成感を味わいつつの帰宅です。

ペガサスでこの3つのステップを着実に突破できれば、生徒たちの定期テスト成績は徐々に伸びてきます。ご家庭とは違う、自信に満ちた顔で勉強してますよ。

さて、実力テストです。

定期テストとは異なり、広い範囲のテストなので入試に似ていますね。なので、その範囲を短期間にすべてを復習しようとしても、なかなか難しいでしょう。「人間は忘れる動物である」と言われるように、以前に一所懸命学習した内容も気づかないうちに忘れてしまうことも多々ありますので、その対処は結構難しいです。

では、どうやって実力テストに備えたらよいのでしょうか？

第1ポイントは、中学校や塾での「学習ノート」の取り方、作り方なのです。分野の要点をチェックするときや自分の弱点を確認したいと思ったときに直ぐに戻れることができるノート作りがとても大切なのです。ペガサスではノートの取り方にとっても力を入れますが、これは日々の鍛錬ですね。

第2ポイントは、定期テストの過去問です。決められた範囲内で単元要点の理解度を確認したのが定期テストですが、実力テストはそれらの要点の蓄積を総合的に、広範に見るテストです。なので、短期間での復習の場合は、誤答問題の見直しが効果的でしょう。

実力テストは入試へ向けての滑走路です。さまざまなテクニックは、「全国ペガサス模試」受験の際には是非レッスンを受けてくださいね。